

[記入方法] 評価対象とする項目を●とし、該当する項目の□にレマークを記入する。

細別		I. 施工体制一般				
a		b	c	d	e	
適切である		ほぼ適切である	他の事項に該当しない	やや不適切である	不適切である	
「評価対象項目」		<input type="checkbox"/> 施工計画書(変更計画書を含む)を工事着手前に提出している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制が一致している。 <input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が施工体制台帳、施工体系図(全ての工事を対象)もしくは施工計画書で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図(すべての工事を対象)が整備され、施工体系図も現場に掲げられている。 <input type="checkbox"/> コリンズの登録(5百万円以上)が、監督員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。 <input type="checkbox"/> 社内検査の時期、確認事項が工事全般にわたり良く把握されている。(社内体制が確立され、有効に機能している。) <input type="checkbox"/> 社内検査員の身分(社員)、経歴が確認でき適正である。 <input type="checkbox"/> 建設業許可標識、法令その他必要な標識を公衆の見やすい場所に掲示している。 <input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故などが発生した場合の体制が整っている。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセスのチェック」、「工事現場などにおける施工体制点検・確認要領」で指摘事項がなかった。 <input type="checkbox"/> その他 理由:			<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、工事監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・d <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、工事監督員からの文書による指示に従わなかった。 上記該当項目があれば・・・e	
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
	該当項目が90%以上……………a					
評定率	該当項目が80%～90%未満……………b					
評定	該当項目が80%未満……………c					
点数	※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					

細別		II. 配置技術者(現場代理人など)				
a		b	c	d	e	
適切である		ほぼ適切である	他の項目に該当しない	やや不適切である	不適切である	
「評価対象項目」		<input type="checkbox"/> 現場代理人として常駐し、工事全体の把握ができています。 <input type="checkbox"/> 現場代理人として、工事監督員との連絡調整を書面で行うなど対応がよい。 <input type="checkbox"/> 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき過不足なく作成している。 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準などを理解し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は、工事監督員と協議するなどの必要な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質など)への対応を図っている。 <input type="checkbox"/> 下請の施工体制、施工状況を把握している。 <input type="checkbox"/> 主任技術者又は、監理技術者として技術的に優れ、良好な施工に努めた。 <input type="checkbox"/> 作業に必要な労働安全衛生規則で定める作業主任者及び建設業法で定める専門技術者を選任及び配置している。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセスのチェック」、「工事現場などにおける施工体制点検・確認要領」で指摘事項がなかった。 <input type="checkbox"/> その他 理由:			<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、工事監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・d <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、工事監督員からの文書による指示に従わなかった。 上記該当項目があれば・・・e	
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
	該当項目が90%以上……………a					
評定率	該当項目が80%～90%未満……………b					
評定	該当項目が80%未満……………c					
点数	※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					

① ●の数を実評価項目の母数として、比率(%)計算の値で評価する。
 ② 評価率(%)=()評価数/()対象評価項目数

[記入方法] 評価対象とする項目を●とし、該当する項目の□にレマークを記入する。

細別		I. 施工管理				
a		b	c	d	e	
適切である		ほぼ適切である	他の項目に該当しない	やや不適切である	不適切である	
<input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 契約書第16条第1項第1号から4号に基づく設計書の照査をおこない施工がなされている。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致している。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 建設機械などの使用及び調達計画が十分なされ管理されている。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響がないよう保管している。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時的確に行っている。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 日常の品質管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時的確に行っている。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工使用資材などの見本、品質管理証明書など、工事写真などが日常的に適切に整理されている。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 段階及び立会確認が適時的確に行われている。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時的確になされている。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用などへの取組を適切に行っている。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセスのチェック」で指摘事項がなかった。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他 理由:				<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、工事監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、工事監督員からの文書による指示に従わなかった。 上記該当項目があれば・・・e	
評価率	該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%～90%未満……………b					
評価	該当項目が80%未満……………c					
点数	※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					
細別		II. 工程管理				
a		b	c	d	e	
適切である		ほぼ適切である	他の項目に該当しない	やや不適切である	不適切である	
<input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 工事の進捗を早めるための取組を行っている。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行などの各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れがない。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れがない。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんどない。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセスのチェック」で指摘事項がなかった。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> その他 理由:				<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、工事監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、工事監督員からの文書による指示に従わなかった。 上記該当項目があれば・・・e	
評価率	該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%～90%未満……………b					
評価	該当項目が80%未満……………c					
点数	※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。					
① ●の数を実評価項目の母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ② 評価率(%)=()評価数/()対象評価項目数						

[記入方法] 評価対象とする項目を●とし、該当する項目の□にレマークを記入する。

細別		Ⅲ. 安全対策				
a		b		c	d	e
適切である		ほぼ適切である		他の項目に該当しない	やや不適切である	不適切である
「評価対象項目」		<input type="checkbox"/> 災害防止協議会などを1回/月以上行っている。 <input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練などを半日/月以上行っている。 <input type="checkbox"/> 施工現場での安全巡視の記録、作業前打ち合わせ(Tool-Box-Meeting)、危険予知(KY)活動などを実施し、記録が整理されている。また、新規入場者教育の内容に当該工事の現場特性を反映している。 <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 <input type="checkbox"/> 交通安全管理に積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理をチェックリストなどを用いて実施している。 <input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。 <input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセスのチェック」で指摘事項がなかった。 <input type="checkbox"/> その他 理由:			<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、工事監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・d	<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、工事監督員からの文書による指示に従わなかった。 上記該当項目があれば・e
		該当項目が90%以上……………a				
評定率		該当項目が80%～90%未満………b				
評定		該当項目が80%未満……………c				
点数		※評価対象項目が2項目以下の場合c評価とする。				
細別		Ⅳ. 対外関係				
a		b		c	d	e
適切である		ほぼ適切である		他の項目に該当しない	やや不適切である	不適切である
「評価対象項目」		<input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生がなかった。 <input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生がなかった。 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を工事看板などにより地域住民や通行者などにわかりやすく周知していた。 <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情がない。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っていた。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいた。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセスのチェック」で指摘事項がなかった。 <input type="checkbox"/> その他 理由:			<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、工事監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・d	<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、工事監督員からの文書による指示に従わなかった。 上記該当項目があれば・e
		該当項目が90%以上……………a				
評定率		該当項目が80%～90%未満………b				
評定		該当項目が80%未満……………c				
点数		※評価対象項目が2項目以下の場合c評価とする。				
① ●の数を評価項目の母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ② 評価率(%)=()評価数/()対象評価項目数						

別紙-1-④(土木工事用) 3. 出来形及び出来ばえ (Ⅰ.出来形) 考査基準

監督員(1)用

[記入方法] 該当する項目の□に ◻ マークを記入する。

考査項目		Ⅰ.出来形		
a	b	c	d	e
□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の50%以内である。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の80%以内である。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a,bに該当しない。	□ 出来形の測定方法または測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。	□ 契約書第15条に基づき、工事監督員が改造の請求又は破壊検査を行った。

- ① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。
- ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。
- ③ 出来形管理とは、「工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。

評定	
評定点数	

3. 出来形及び出来ばえ (Ⅱ.品質) 考査基準

[記入方法] 該当する項目の□に ◻ マークを記入する。

考査項目		Ⅱ.品質		
a	b	c	d	e
□ 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の50%以内である。	□ 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の80%以内である。	□ 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a,bに該当しない。	□ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。	□ 契約書第15条に基づき、工事監督員が改造の請求又は破壊検査を行った。

- ① 品質の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。
- ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。
- ③ 品質管理とは、「工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。

評定	
評定点数	